

資 料

1	「令和6年度当初予算（案） のポイント」（各局の取組）	435
---	--------------------------------	-----

令和6年度
当初予算(案)のポイント
各局の取組

当初予算のポイント(政策局)

上質な生活都市の実現に向けて、第8次総合計画の取組を着実に推進するとともに、熊本地震の経験と教訓を生かした「真に災害に強いまち」や第2期国際戦略に基づいた「戦略的な海外展開」や「地域の国際化」の実現を目指します。
また、人口減少などの課題解決に向け、スマートシティの実現に向けた取組やデータ利活用に向けた環境整備を行います。

総合計画の推進

総合計画の周知・広報

12,000千円

市民と本市のめざすまちの姿を共有し、今後のまちづくりの担い手として共に行動する意識醸成を図るため、第8次総合計画の周知・広報活動を行います。

【ビジョンごとの紹介動画やパネル】



【ビジョンに関連する美術作品】

（例）
説明：作者がこどもへの希望を込めて作成したもの。

戦略的な海外展開

58,386千円

海外に向けて本市の魅力効果を効果的に発信するとともに、本市の国際的なプレゼンスの向上を図るため、北米でのトップセールスや政策プロモーション活動等を行います。



PR



熊本市外国人総合相談プラザ

地域国際化の推進

257,831千円

多文化共生社会を推進するため、熊本市国際交流会館を中心に相談事業や異文化理解に関する事業等を行います。

友好姉妹都市等との交流・連携の推進

台湾との交流促進

4,890千円

台湾で開催されるイベント活動への参加を通して、本市の魅力についてPRを行います。
また、台湾半導体関連企業の熊本進出に伴い、今後ニーズが高まる行政文書の繁体字翻訳や台湾華語での通訳業務等に対応するなど、台湾からの受入環境の整備に取り組みます。



高雄市 マラソン交流

友好姉妹都市等との交流促進

14,990千円

交流都市締結10周年を迎えた中国・蘇州高新区との周年事業等による中国訪問をはじめ、友好姉妹都市等との交流を促進します。



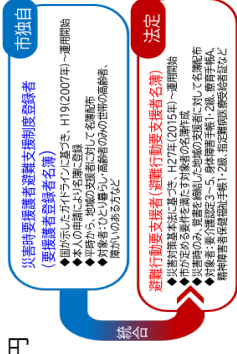
中国・蘇州高新区との交流

当初予算のポイント(政策局)つづき

真に災害に強いまちの実現

避難行動要支援者への支援 4,200千円

避難行動要支援者名簿の一本化、個別避難計画の作成推進のための同意確認や福祉専門職参画など、避難行動要支援者に対する支援の仕組み構築に取り組めます。



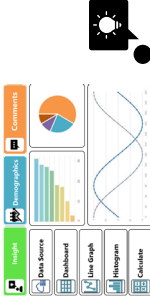
緊急告知ラジオ

防災情報伝達体制の整備 330,688千円

防災行政無線の整備や緊急告知ラジオの電波受信エリアの拡充を行います。

データ利活用の推進 44,100千円

データに基づく事業立案等を進めていくために、データ利活用人材の育成や環境整備に取り組めます。



データに基づく事業立案等

スマートシティの推進 34,520千円

官民連携プラットフォームの運営や実証事業の補助、エリアデータ連携基盤の活用等により、スマートシティの推進を図ります。



スマートシティくまもと推進官民連携協議会

首都圏プロモーションの推進

首都圏プロモーションの推進 30,000千円

地元経済活性化に向けた域外需要等の取り込み等を目的として、効果的かつ切れ目のないプロモーションの展開や、関係者等とのネットワーク強化の取組を推進します。



農水産物のPR



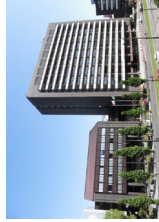
ネットワーク交流

新庁舎整備の推進

新庁舎整備の検討

43,000千円

新庁舎整備に向けて、建設地や庁舎の機能・規模、事業手法などの検討を進めるとともに、市民への情報提供・合意形成に取り組めます。



現庁舎(行政棟・議会議場)

当初予算のポイント(総務局)

職員の能力向上を図るとともに、市民に寄り添った上質な行政サービスの実現を目指します。

デジタルトランスフォーメーション(DX)の推進

行かない・書かない・待たない窓口の推進

45,400千円



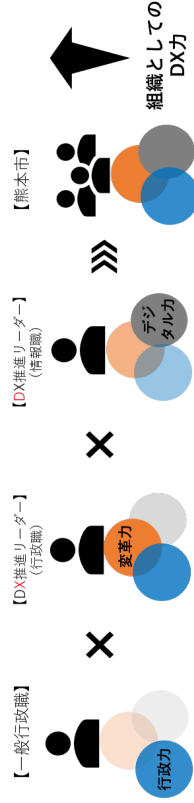
- ・職員が窓口支援システムに申請情報を入力

デジタル人材の育成

4,428千円

庁内でDXの中核を担う人材(DX推進リーダー)を育成するために、実践的な知識・スキルの習得に特化した研修を実施します。

また、高度専門資格の取得を支援し、デジタルに関する高度な知識と技術を備えた専門性の高い職員の育成を図ります。



定型業務の集約化・効率化

(仮称)総合行政事務センターの設置

48,000千円

区役所や各局で取り扱う各種申請等に関する定型業務を集約し、民間ノウハウを活用しながら効率的に処理を行う「(仮称)総合行政事務センター」を令和6年10月から設置します。

(仮称)総合行政事務センターを設置し、市民の利便性向上／に取り組めます

- ✓ 申請から決定までに要する時間が短縮されます
- ✓ 問い合わせ先が一本化されます
- ✓ 窓口へ出向くことなく手続が可能になります
- ✓ 申請の処理状況がスムーズに確認できます



■ (仮称)総合行政事務センターの設置イメージ



(仮称)総合行政事務センターの設置イメージ

当初予算のポイント(総務局)つづき

市民に信頼される職員の育成

職員の能力向上のための研修推進 27,000千円

「職員成長・育成方針」に掲げる目指す職員像の実現のため、意欲的に学び、成長し続けるための機会を提供します。
また、職務を通じた「学び」と、定期的な研修による「気づき」を通して、自分自身や仕事に真摯に向き合い、「成長し続ける」ことができる人材を育成します。

若手職員の早期育成・自発的な成長の促進
若手職員へ向け、内発的動機づけ(貢献・成長・やりがい・仲間)につながる
カリキュラムや、スキルアップのためのコンテンツを提供します。



ライフ&キャリアデザイン研修の実施

自分のありたい姿を考え、導くための行動変容に向けて、年代やライフイベントに応じたキャリアの見直し、自己成長の機会を提供します。



管理職のマネジメント機能の強化

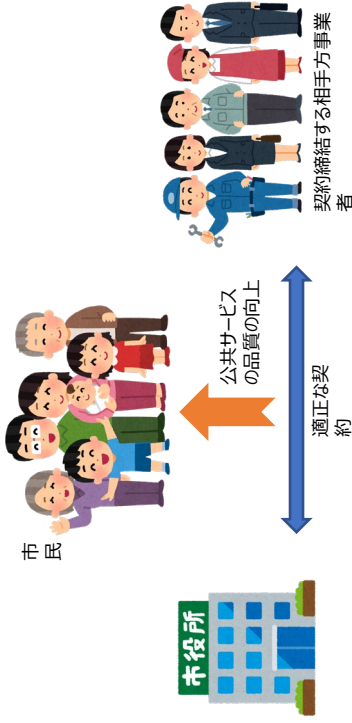
組織全体の成長の観点から、個々の職員を成長させるため、部長職員の「人材マネジメント力」及び課長職員の「判断能力」の強化を図る研修を実施します。



契約事務の効率化

公契約条例の制定及び契約関連システムの運用 49,270千円

公契約条例の制定
「公共サービスの品質の向上」や「適正な労働環境の確保」等を図るため、市が締結する契約における、市及び事業者の責務等を定める「公契約条例」の制定を目指し、検討会議を設置します。



契約関連システムの運用
電子契約(紙の契約書に記名押印すること代えて、電子文書に電子署名することと締結する契約)を導入し、契約事務の更なるオンライン化による契約事務の効率化や利便性向上を図ります。



当初予算のポイント(財政局)

限られた財源と人員を有効に活用し、効果的かつ効率的な行政運営に取り組みます。

公有財産の適正な管理及び公共施設等の最適化

公共施設マネジメントの推進 8,478千円



公共施設マネジメント
ワークショップ

公共施設の総合的かつ計画的な管理・活用 の推進に向け、ワークショップ等による情報共有・発信を図るとともに、公民連携手法による公共施設等の整備・運営に取り組みます。

財産管理の適正化 19,660千円

公有財産の適正な管理・保全や未利用地の有効活用に取り組みます。



官民対話
(マーケットサウンディング)

適正かつ公平な課税と徴収の推進

市税収納率の向上 145,960千円

市民間活力を活用した催告業務(コール、訪問)等の初期未納対策に取り組むとともに、職員を滞納処分に専念させることで、更なる収納率の向上を目指します。



eLTAX(市税の電子申告・納税システム)の推進 76,247千円

自宅やオフィスからインターネットを通じた市税手続きができる
eLTAX(市税の電子申告・納税システム)を推進します。



多様かつ安定的な資金調達

グリーン/ブルーボンドの発行 17,500千円
グリーン/ブルーボンドの発行を通じた資金調達を行い、日本一の地下水都市として、地下水保全の取組などの財源に活用します。【R6発行予定額50億円】



《充当プロジェクトの
例》

水運かん養林の整備



令和5年度発行概要	
発行額	50億円
需要	63.4億円(52件)
投資表明	投資家から50件の投資表明
利率	0.904%(2bpのグリーンプレミアム発生)
特徴	地下水保全の取組をブループロジェクトとして発行(西日本初!!)

※グリーンボンドが普通債に比べて利率が低くなる現象のこと

当初予算のポイント(文化市民局・区役所)

自主自立のまちづくりを進め、安全で安心して暮らせる地域づくり、人権尊重の共生社会の実現を目指すとともに、熊本城をはじめ多くの貴重な文化財の適切な保存・調査研究・整備・活用に取り組み、文化芸術をいかしたまちづくりを推進します。

男女共同参画・人権尊重の社会づくりの推進

女性の活躍推進に向けたキャリアアップ支援

5,000千円

企業ニーズが高いWebマーケティングに特化したスキル習得から企業とのマッチングまでの生涯型支援を行うことで、女性のキャリアアップと所得向上を目指します。



自主自立のまちづくりの推進

各区のまちづくり推進経費

100,000千円

自主自立のまちづくりを推進するため、地域の特性をいかした事業を実施すること
で、地域力の維持・向上を目指します。

町内自治会活動等の支援

287,440千円

町内自治会活動の運営や防犯灯の維持管理に係る経費の一部を助成します。また、
校区自治協議会の運営支援を行います。

安全安心な市民生活の維持・構築

犯罪被害者等に対する支援

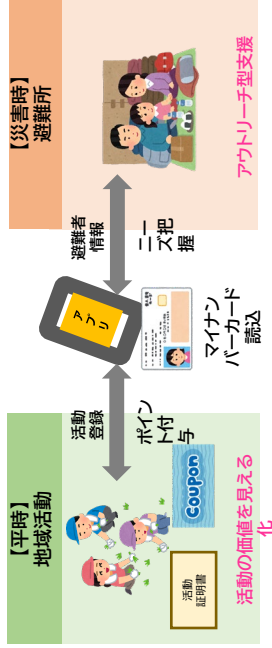
3,130千円

犯罪の被害に遭われた方や遺族が、再び平穏な生活を営むことができるよう、新たに市独自の見舞金制度を創設することで経済的支援を行うとともに、相談体制の拡充や、犯罪被害者等の実情等に対する理解促進を図るための広報啓発を行います。

くまもとポイント制度の普及・促進

20,540千円

令和5年度末に運用開始するくまもとアプリの運用保守を行うとともに、事業の普及・促進を図るため、効果的な広報周知を行います。



当初予算のポイント(文化市民局・区役所)つづき

文化をいかしたまちづくり

熊本市文化芸術推進基本計画の策定

3,500千円

令和5年度に実施した調査分析を踏まえ、福祉や観光、教育など様々な分野と連携して文化をいかしたまちづくりを推進するための計画を策定します。

漱石文化の更なる振興

10,000千円

夏目漱石の3旧居(第三、第五、第六)とゆかりの地を一体的に活用するため、歴史ドキュメンタリードラマを制作するほか、各旧居の活用方針や新たな観光ルートの開拓に向けた計画を策定します。



夏目漱石内坪井旧居



熊本城の着実な復旧と公開

熊本城の復旧事業

2,013,177千円

熊本地震により甚大な被害を受けた熊本城の復旧工事を進めるとともに、復旧過程の段階的公開と活用を図ることで、観光資源としての早期再生を目指します。

特別公開の円滑な運営

559,800千円

熊本城特別公開へのさらなる入園者数増加を図るとともに、入園者が快適で安全・安心に利用できる施設運営に取り組めます。

市民ニーズに的確に対応できる行政サービスの提供

マイナンバーカードの交付促進と円滑化

1,061,400千円

マイナンバーカードの円滑な交付体制を引き続き維持するとともに、利便性向上のため、窓口を集約した新マイナンバーセンターを開設します。



市民満足度の高い区役所の推進

75,587千円

タブレット端末を用いた住民異動届の作成支援や、住民異動届情報の自動入力、さらにキャッシュレス端末付きセミセルフレジを導入することで、窓口の混雑緩和と業務の効率化に取り組めます。

当初予算のポイント(健康福祉局)

年齢や障がいの有無などに関わらず、だれもが生涯にわたり安心していきいきと暮らすことのできるまちを目指します。

だれもが生きがいを持ち、お互いに支え合える共生社会・包摂社会の推進

地域福祉活動の推進

216,937千

円 地域福祉活動の担い手である校区社会福祉協議会による地域課題解決に向けた取組や、民生委員・児童委員の活動に対する支援を行うほか、孤独・孤立に悩む方に対する支援体制の構築を図ります。

地域包括ケアの推進

868,200千

円 高齢者支援センターさざえりあを中心として、高齢者に関する各種相談対応を行うとともに、地域における生活支援サービスの創出や自立支援型ケアマネジメンツの取組等を推進します。



地域包括ケアのイメージ
出典：平成28年3月 地域包括
ケア研究会報告「地域包括ケア
システムと地域マネジメント」



障がい者サポーター制度
シンボルマーク

14,100千円

地域猫適正管理の推進

飼いの主のいない猫の不妊去勢手術を無償で実施し繁殖を抑制すること
で、町内自治会等が行う地域猫活動のさらなる推進を図ります。



健康福祉分野における市民サービスの向上等

115,090千

円 介護認定情報確認のオンライン化、重度心身障害者(児)医療
費助成における併用レセプト方式の導入等により、市民サー
ビスの向上等を図ります。



介護認定情報確認のオンライン化
※要介護認定申請者の同意が必要

市民の安心を確保するための社会保障制度の適切な運営

生活保護受給者への就労支援等の実施

44,070千円

就労支援相談員とケースワーカーが連携して、生活保護受給者の実情に応じ
たきめ細かな就労支援を行います。



国民健康保険会計の健全化

650,625千円

医療費適正化に向けた取組や収納率向上対策等を行い、単年度収支の均衡に努めます。



がんとの共生

5,690千円

がん治療に伴う外見の変化(脱毛、乳房の切除部分等)に対して医療用ウィッグ等の購
入助成支援を行い、就労や社会参加促進、安心で豊かな日常生活を通じてがんとの共
生を実現します。

骨髄バンク等の普及啓発の推進

1,500千円

希望するすべての患者への骨髄等移植の表現に向けて、骨髄等移植の普及啓発イベン
トを開催し、ドナー登録者数の増加を目指します。

当初予算(案)のポイント_各局の取組 | 2024

当初予算のポイント(健康福祉局)つづき

人生100年時代を生きるための健康づくりの推進

楽しみながら取り組める健康づくり 71,100千円

熊本連携中核都市圏住民が自主的に楽しみながら継続的に健康づくり活動を行うことができるよう、健康ポイント事業を運用します。



生活習慣病などの予防・悪化防止 573,325千円

個別受診勧奨などの取組により、がん検診受診率の向上を図ります。また、慢性腎臓病(CKD)や循環器疾患等、QOL(生活の質)の低下につながる生活習慣病予防の啓発や病診連携システムの推進等に取り組めます。



効果的な介護予防の推進 91,746千円

民間活力を活用した市主催の介護予防教室において、プロスポーツチーム等と連携して開発した運動プログラムを実施し、誰でも気軽に健康づくりに取り組める環境の整備を推進します。

持続可能な食を支える食育の推進 2,000千円

郷土料理伝承事業を通じて、次世代を担う子ども達へ熊本の食文化を伝えるなど、持続可能な食を支える食育を推進します。



保健衛生体制の強化と医療提供体制の確保

定期予防接種等の推進 2,813,400千円

小児等に対する定期予防接種や、風しん抗体検査等を行います。

初期救急医療体制の整備 180,137千円

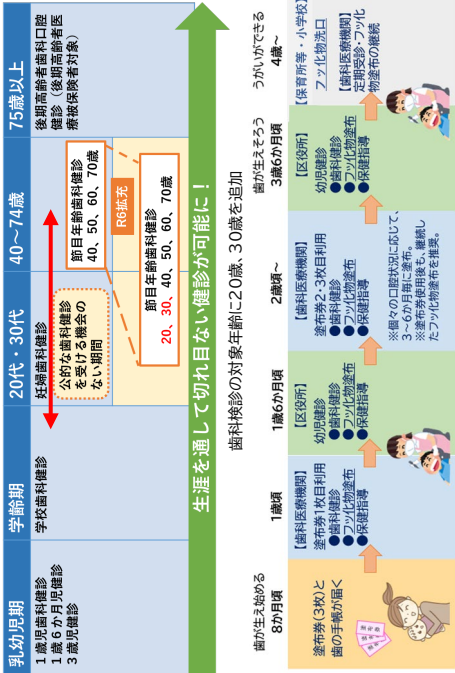
休日、夜間及び年末年始期間における救急患者の診療体制を確保します。



切れ目のない歯と口腔の健康づくりの推進

69,811千円

子どもの頃から生涯にわたって歯と口腔の健康を保ち、豊かな生活を実現するため、妊婦歯科健診、フッ化物塗布・洗口、節目年齢歯科健診などライフステージの特性に応じた切れ目のない歯科口腔保健を推進します。



フッ化物の塗布・洗口事業

市営墓地・斎場の適切な管理の推進

696,519千円

老朽化に伴う植木火葬場の建替や、計画的な火葬場の整備に取り組むとともに、指定管理者制度による市営墓地の適切な管理を図ります。

当初予算のポイント(子ども局)

子どもが輝き、若者が希望を抱くまちの実現に向け取り組みます。

子どものいのちと権利を守る取組

子どものいのちと権利を守る取組 24,300千円

子どもの権利サポートセンターでは、学校内外を問わず子どもの権利に係る相談に対応するとともに広報・啓発等に取り組みます。



予期せぬ妊娠に悩む方への支援 3,000千円

妊娠内密相談センターでは、予期せぬ妊娠に悩む方に対する併走型支援を行うとともに、妊娠や出産に関する正しい知識の普及啓発等に取り組みます。

結婚、妊娠、出産などの希望を実現

結婚を希望する方への支援 37,000千円

結婚支援を包括的にコーディネートする結婚支援センターを新設し、結婚を希望する全ての方にマッチングシステムを活用した出会いの機会を提供します。



産後ケアの充実 44,000千円

新たに居宅訪問型を導入し、専門職による心身のケアや育児のサポート等きめ細かい支援を行います。

子どもの健やかな成長と子育て家庭を支援

こどもの居場所の充実 64,919千円

こども食堂の啓発や新たな食堂の開設支援を行います。保育園、幼稚園、認定こども園等の玩具・本・教材の充実に取り組みます。



医療費助成の申請手続きの簡便化 66,100千円

こども医療費(ひまわりカード)について、事務手続きを改善します。これにより、高額療養費に該当する場合など、医療機関窓口で医療費を一時負担することが大幅に少なくなります。また、医療機関等の請求事務の軽減が大きく図られます。



子育て支援手続きのDX推進 1,298千円

子育て支援アプリを導入し、予防接種、健康診査等の子育て支援情報をブラウザ型で提供します。

一時預かり、障がい児入所支援の充実 374,172千円

公立保育所において児童の一時預かりの定員を拡大します。「こども誰でも通園制度(仮称)」について、令和6年度中の試行的事業の開始を目指し、制度設計を進めます。障がい児を受け入れている私立保育所に保育士の人件費等を補助します。

当初予算のポイント(子ども局)つづき

こどもの健やかな成長と子育て家庭を支援

児童手当の拡充

13,590,908千円

支給対象を高校生年代まで拡充し、所得制限撤廃します。
第3子以降加算を15,000円から30,000円に増額します。



妊産婦・子育て世帯・子どもへの相談支援

112,329千円

子ども家庭センターを各区役所内に新設し、保健師等の専門職が中心となり、すべての妊産婦・子育て世帯・子どもの包括的な相談支援等を行う体制を強化します。

困難な状況にある子どもや家庭を支援

若者・ヤングケアラーへの支援

22,416千円

(仮称)若者・ヤングケアラー支援センターを新設し、専門資格やスキルを持つ相談支援員が訪問相談による支援等を行います。また、ヤングケアラーに関する専用相談窓口を開設し、課題を抱える若者への支援体制を強化します。

障がい又は障がいの疑いのある子どもへの支援

34,720千円

子ども発達支援センターでは、障がい又は障がいの疑いのある子どもが、家庭や保育所、学校等での生活が円滑に送れるよう、医師や心理相談員、言語聴覚士等の専門のスタッフが個々の状況に応じた支援を行います。

困難な状況にある子どもや家庭を支援(つづき)

児童養護施設等の体制を強化

49,860千円

児童養護施設等における補助業務従事者の雇用に係る経費を助成し、施設における業務負担の軽減・離職防止・人材確保を図ります。

こどもの権利擁護

10,400千円

児童養護施設等を定期訪問し、入所する子どもが自らの処遇や施設の環境に対する意見を表明するための支援を実施します(対象施設を4→23施設に拡充)。



事業の推進に向けて

(仮称)熊本市こどもの計画を策定

4,000千円

子ども・子育て施策を総合的に推進するために、子どもや若者、子育て当事者等の意見を反映させた「(仮称)熊本市こども計画」を策定します。

当初予算のポイント(環境局)

恵まれた環境をまもり、はぐくみ、未来へつなぐ、持続可能な環境都市を目指します。

カーボンニュートラルの実現

くまもと脱炭素循環共生圏の推進 4,300千円

「2050年カーボンニュートラル」の実現に向け、熊本連携中枢都市圏の市町村と連携し、地球温暖化対策を推進します。

熊本連携中枢都市圏の市町村有施設における電力の脱炭素化 80,295千円
本市の施設における電力の脱炭素化 9,700千円

熊本連携中枢都市圏の市町村有施設における電力の脱炭素化に向け、環境省の「地域脱炭素移行・再エネ推進交付金」を活用し、率先して太陽光発電設備の整備や公用車のEV化、施設のZEB化等に取り組めます。

省エネルギー等の推進 93,190千円

市民や事業者の省エネ機器等の導入への補助金交付等、地球温暖化対策と災害に強い自立・分散型のエネルギーシステムの構築を推進します。



市立学校に導入した太陽光発電設備



公用車に導入した電気自動車

生物多様性の保全と自然との共生

生物多様性の保全 1,680千円

生物多様性を保全しそのめぐみを受け続けるため、いきものフェアの開催等、生物多様性の保全について、情報発信や普及啓発に取り組めます。

自然環境の保全 17,300千円

江津湖地域の生態系保全のため、指定外来魚の駆除等を行うとともに、アライグマによる被害を防止するため、特定外来生物対策を行います。



江津湖

環境影響評価制度の導入 12,900千円

本市の魅力である清らかな地下水や豊かな緑等の自然環境や景観の保全に取り組むため、事業計画段階から、事業者自らが調査・予測及び評価を行い、環境保全の観点からより良い事業実施につなげていく(仮称)環境影響評価条例」の制定に取り組めます。

環境衛生における調査研究体制の強化

感染症対策の強化 9,400千円

環境総合センター(地方衛生研究所)における検査体制の強化や職員の資質向上を図るとともに、新たな環境問題への対策にもの確に取り組めます。



当初予算のポイント(環境局)つづき

持続可能な循環型都市の実現

プラスチックの削減と資源循環の推進 2,000千円

プラスチックごみの発生抑制とバイオプラスチックの利用促進の啓発を行うとともに、プラスチック使用製品廃棄物の資源循環に向けた実証実験を行います。

家庭ごみの再資源化 1,594,000千円

空きびんや空き缶、ペットボトル、プラスチック製容器包装などの資源物を分別収集し、リサイクルを推進します。

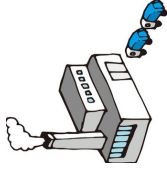
資源物持ち去りへの対応 15,300千円

持ち去り防止指導員によるパトロールや追跡調査、買取業者等への立ち入り調査等を行い、資源物の持ち去りを未然に防ぎます。



食品ロス対策の推進 5,400千円

フードドライブ等の食品ロス削減の取組や市民・事業者への意識啓発の広報等を行い、食品ロス対策を推進します。



東部環境工場の機能維持 3,030,500千円

燃やすごみの処理を安定的に移動させるため、廃熱ボイラやクレーン設備等の主要設備の計画的な整備を実施します。



地下水保全対策の強化

水田湛水による地下水かん養 65,900千円

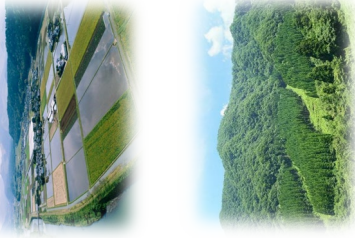
水田湛水に取り組み協力農家への助成金を増額し、白川中流域(菊陽町、大津町等)における転作田を活用した水田湛水事業による地下水かん養を強化します。

水源かん養林の整備 62,300千円

白川上流域(西原村、大津町等)において、森林の持つ水源かん養機能(水資源貯留、水量調節、水質浄化、洪水緩和等)を高度に発揮させるため、森林整備を行います。

水質保全対策の強化 2,935千円

公共用水域における水質の監視を拡充・強化するとともに、PFOS・PFOAの暫定指針値の超過が確認された地点について、地下水質保全の対策を強化します。



広域連携や協働による地下水の保全 11,430千円

広域的な地下水保全対策を実施する「(公財)くまもと地下水財団」と連携し、水質・水量、啓発等の地下水保全対策を推進します。

くまもと水ブランドの情報発信 10,400千円

熊本地下水を「くまもと水ブランド」として位置づけ、その地下水を育む市民・事業者・行政の協働による取組を国内外に発信します。



当初予算のポイント(経済観光局)

半導体関連企業の集積やインバウンドの回復等の好機を生かし、地域経済の持続的な発展や更なる賑わいの創出に向けた取組を推進していきます。

半導体関連産業の集積を見据えた戦略的な企業誘致

半導体関連企業の誘致と受入用地の整備 14,500千円

TSMCと取引がある企業情報の収集や本市産業用地の整備を踏まえた立地ニーズ等の調査を行います。

セミコン台湾での本市ブースの出展等、国内外の半導体関連の展示会へ参加し、本市の立地環境等のプロモーションを行うとともに、立地可能性のある企業への積極的なアプローチを行います。

協定を締結した民間事業者と連携し、産業用地の整備を進めます。



セミコン台湾への出展(R5年9月)

社会経済を支える労働力の確保

現在及び将来を見据えた人材確保支援 72,190千円

地元企業と求職者のマッチングを支援するため、合同就職説明会やインターンシップを開催します。また、県外在住者の移住就業促進を目的として、合同就職説明会と連携した移住ツアーを実施します。

地元定着を目的として、小中学生向け「しごと学びWEBライブ」や高校生向け地域課題解決パンプレットの制作等により、地元企業を知る機会を創出します。

多様な人材確保支援 11,300千円

求職者や就業者のスキル習得を図るため、eラーニングを活用したリスキリングを支援します。

個人向けにテレワークに必要なスキルを習得する講座、企業向けに業務改革セミナーを実施します。

外国人労働者等の日本語能力向上のため、日本語習得研修及びビジネスマナー講座を拡充します。



インターンシップ



しごと学びWEBライブ

成長段階に応じたスタートアップ等※1への支援

スタートアップエコシステム構築に向けた取組 58,400千円

域内外のメンター※2等によるビジネスプランのブラッシュアップ等、スタートアップ等の成長段階に応じた伴走支援を行います。

ベンチャーキャピタル※3や金融機関、事業会社等に対するビジネスプランの発信機会を創出します。

スタートアップと起業等に関心のある学生とのマッチング機会を創出します。

JETRO(独立行政法人日本貿易振興機構)と連携した世界展開機会を創出します。

スタートアップ都市づくりにより先進的に取り組む自治体との連携を強化します。



スタートアップ等に対する伴走支援



首都圏でのプロモーションイベント

※1スタートアップ等：新しい技術やサービス、ビジネスモデルを軸に、成長が期待できる起業家や新事業に取り組む中小企業等
※2メンター：先輩起業家や各分野の専門家等、起業家の事業立ち上げや事業の拡大をサポートできる者
※3ベンチャーキャピタル：スタートアップ等に投資を行う投資会社

事業承継の促進

事業承継・引継ぎ支援事業 2,000千円

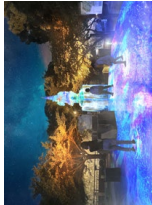
事業承継に関する基礎知識や事例紹介等のセミナーを実施するとともに、セミナーの模様をアーカイブ配信します。



当初予算のポイント(経済観光局)つづき

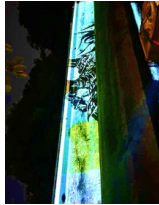
戦略的な観光誘客・MICE誘致と賑わいの創出

熊本市観光マーケティング戦略のビジョン実現に向けた取組 91,000千円



ポストコロナにおける本市への訪日観光客誘客を目的にプロモーション等を実施することで、インバウンドの更なる回復を図り、地域経済の活性化に繋がります。

本市での滞在時間の増加、周遊及び宿泊喚起による観光消費額の拡大を図るため、ナイトタイムエコノミー※1を推進し、地域経済の活性化に繋がります。



戦略に基づく各種取組の進捗等を把握する調査・分析を踏まえた施策の検証等を通じて、戦略の着実な推進を図ります。

※1ナイトタイムエコノミー：夜間の経済活動。夜ならではの消費活動や地域の魅力創出を行うことで、経済効果を高めることを目指す。

MICE誘致戦略事業 90,000千円

「第2期熊本市MICE誘致戦略」に基づく事業を展開するとともに、熊本国際観光コンベンション協会などの関係団体と連携し、学会、国際会議及びコンサート・イベント等の誘致に取り組めます。

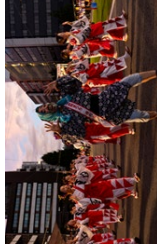
イベント開催による賑わいの創出

285,000千円

火の国まつり・お城まつり・江津湖花火大会・熊本城マラソンの開催等により、本市のにぎわいを創出することで、地域経済の活性化及び交流人口の拡大を図ります。



熊本城マラソン2023



第46回火の国まつり



江津湖花火大会2023

ライフステージに応じた生涯スポーツの推進

ライフステージに応じた生涯スポーツの振興に向けた取組 35,800千円

近年の社会状況の変化を踏まえ、「第2次熊本市生涯スポーツマスタープラン」の見直しを実施します。

令和7年度に開催予定の第80回熊本県民体育祭に向けて、実行委員会の設置など準備を行います。

ハイデルベルク市とのスポーツ交流を令和6年度より再開します。



競輪事業会計

熊本競輪場の再建

495,008千円

熊本地震で被災した熊本競輪場の全面開業に向け、地域の防災・コミュニティの拠点となるよう残存施設の解体、駐車場整備等を行います。

市民生活向上への貢献(一般会計繰出金) 200,000千円

競輪事業の収益の一部を一般会計に繰り入れることで、都市整備や社会保障等の財源として活用します。



当初予算のポイント(農水局)

経営向上に挑戦する農漁業者を応援するとともに、安全・安心で良質な農水産物を国内外にアピールすることで、農水産業の持続的発展を目指します。

競争力の高い農水産業の振興

国芸農業などの地域の特性をいかした農業やスマート農業の推進 199,045千円

本市の農業の競争力を高めるため、消費者・事業者ニーズを踏まえた生産の拡大や、品質向上、低コスト化、出荷の安定化、ICTやAI技術などを活用したスマート農業の推進とともに、自然災害への対策に取り組めます。

また、農業の生産力向上と持続性の両立を目指し、環境に配慮した農業を推進します。



稼げる水産業の推進

16,435千円

収益性が高い養殖漁業を推進し、競争力の強化を目指します。特に、生産量が低迷している水産資源の増殖・持続的な維持を推進するため、有用魚貝類の種苗放流や二枚貝類の保護育成に取り組めます。



鳥獣被害の防止・軽減

22,990千円

更なる捕獲体制の強化と捕獲頭数の増加を図るため、熊本市有害鳥獣駆除隊等への支援を拡大するとともに、市民との協働による鳥獣対策を推進し、地域住民と一体となった捕獲や鳥獣が近づきにくい環境整備など総合的な鳥獣被害対策に取り組めます。



しなやかで強い経営基盤の確立

経営体の強化 230,742千円

担い手を育成・確保するとともに、農地の集積等による経営の安定化を通じて持続可能な農業の実現を目指します。

生産基盤の整備・保全 3,247,702千円

農地・土地改良関連施設及び漁場・漁港施設の整備・保全を推進し、国土強靱化の視点も踏まえた持続可能な農水産業のための経営基盤の確立を目指します。

特に、農地等の湛水被害の軽減や、漁港施設の整備及び航路・泊地の浚渫など、施設の更新や維持補修を計画的に進め、生産性の向上とともに災害や環境変化に強い基盤づくりに取り組めます。



農と食の魅力創造

118,836千円

農水産業の新たな価値を生み出す「農と食の魅力創造」に向けて、民間企業との連携強化やトッププロモーションを実施するとともに、通信販売等を活用した効果的な販売促進活動により、熊本の良質な農水産物のブランド化・高付加価値化、販路開拓・拡大を推進します。

また、更なる海外販路拡大を図るため、関係機関と連携したくまもと輸出促進ネットワークにおいて、事業者の輸出力強化に向けた支援を行うとともに、商談会等の販路開拓の取組を強化します。



当初予算(案)のポイント_各局の取組 | 2024

当初予算のポイント(都市建設局)

安全で良好な都市基盤が整備されたまちの実現に取り組みます。

多核連携都市の実現

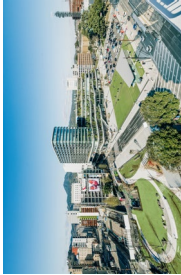
適正な土地利用の推進

90,630千円

多核連携都市の実現に向け、社会情勢の変化や地域の実態を踏まえ、計画改定やメロハリある土地利用の検討を行います。

昼も夜も歩いて楽しめる魅力的な都市空間の創出 292,660千円

花畑広場や熊本駅白川口駅前広場など、中心市街地において整備した都市基盤を最大限活用し、回遊性が高く賑わいのある、昼も夜も歩いて楽しめる魅力的な都市空間の創出を図ります。



▲花畑広場

良好な都市景観の形成

36,800千円

良好な都市景観の形成に向け、町屋等の地域資源を活用したまちづくりへの支援や、屋外広告物の適正化に取り組みます。

安心・安全なまちづくり

34,100千円

盛土規制法の運用開始に向け、規制区域の作成並びに既存盛土等の現地調査を行います。

公共交通と自動車交通のベストミックスの構築

バス路線網の再編

64,200千円

バスの共同経営事業に対する支援や西南部、植木地域へのAIデマンドタクシーの導入に取り組みます。

公共交通の利用促進

106,560千円

バス、電車の利用促進に向けた無料の日実施やまちなかフリーバスの実証実験、バス停ベンチの設置等に取り組みます。



▲AIデマンドタクシー

公共交通の維持確保

1,588,906千円

公共交通の維持確保に向け、路線バスや市電等への運行支援を行います。



▲バス・電車無料の日

自転車利活用の推進

52,050千円

サイクル＆ライド駐輪場の整備や自転車安全利用の推進等に取り組みます。

豊かな住生活の実現

良好な居住環境の形成

856,310千円

住宅のバリアフリーやマンション適正管理などへの支援や熊本地震により発生した液状化の対策を進めます。さらに、社会変化に応じた課題を把握するとともに、更なる住生活の質の向上を目指し、熊本市住生活基本計画の改定を行います。



▲高平団地集約建替イメージ

総合的な空き家等対策の推進

97,500千円

空き家等の適正な維持管理や措置、利活用の促進など総合的な空き家等対策を推進し、安全・安心な魅力ある住環境を実現します。さらに中古住宅の活用により定住促進を図ります。

良好な市営住宅の供給

3,312,794千円

市営住宅長寿命化計画に基づいて、市営団地の維持補修、用途廃止、集約建替を進めます。

当初予算のポイント(都市建設局)つづき

安全で利便性の高い都市基盤の充実

「10分・20分構想」の実現

261,000千円
市中心部から高速道路ICや熊本空港までのアクセスを強化する「10分・20分構想」の実現に向けて、住民参加型の道路計画等に取り組みます。

半導体関連企業誘致に伴う交通対策経費 200,170千円
半導体関連企業等の進出に伴う交通需要への対応として、対策路線に係る工事及び設計等の実施により、交通対策を進めます。

熊本西環状道路(池上・砂原工区)の整備推進

▲10分・20分構想

4,974,500千円
「都市圏内外の人流・物流、災害時活動を支援するため、「池上工区」及び「池上インター線」の令和7年度開通及び「砂原工区」の早期開通に向けて整備を進めます。

都市計画道路の計画的な整備 2,568,845千円
(都)バイパス線、(都)坪井龍田篠原線等、都市の骨格を形成する都市計画道路の整備を進めます。

インフラ老朽化対策などの推進 1,903,430千円
災害に強い道路網を形成するため、橋梁など道路施設の老朽化対策を進めます。

広域・準用河川等の改修 807,650千円
洪水による被害の防止・軽減を図るため、河道の改修を行います。



▲河川改修の事例(旧天明新川)



▲熊本西環状道路(池上・砂原工区)



▲橋梁メンテナンス

持続可能な「森の都」の実現

“緑の基本計画”アクションプログラムの策定と事業展開



▲アクションプログラムの取組

令和5年度までに計画策定を終えた10エリアにおいて、市民・企業との協働による花と緑に関する取組を実施するとともに、新たなエリアでの計画策定を進めます。

NEO GREEN PROJECT

11,130千円
花と緑による持続可能なまちづくりとして、市民・企業・関連団体との協働による花と緑のプロジェクトを展開します。

くまもと花博の開催

73,400千円
くまもと花博を3エリア(街なか・水辺・まち山)で開催し、花や緑のある暮らしにつなげます。



▲花のトンネル



▲フラワーマルシェ

樹木点検・再生事業

96,800千円
令和5年度実施した総点検結果がC判定の樹木(1年後要点検)の点検・伐採を行うとともに、補植工事を行います。

グリーンインフラ事業

100,000千円
緑の持つ防災減災、賑わい、景観向上といった多機能性を活かしたグリーンインフラによるまちづくりの一環として、白川右岸緑地のリニューアル(憩いの空間)整備に取り組みます。



▲遊具改修

安全で安心な公園環境の整備

243,000千円
安全で快適な公園空間を確保するため、老朽化した公園遊具等の更新を行います。また、公園資源の多様なストック効果を高めるため、ニーズに即した改編を行い、公園の活性化につなげます。

当初予算のポイント(消防局)

あらゆる災害から市民の生命財産を保護することを目標とし、火災予防対策の推進や消防体制の充実強化、地域の災害対応力の強化を図ります。

消防機能の充実

消防車両の整備 313,000千円

次の消防車両を更新し、消防力を強化します。

車種	配備先
ポンプ車	南消防署、託麻出張所
救急車	西・北消防署
後方支援車	小山・河内・島崎・鮑田天明出張所
軽消防車	消防局
連絡車	田崎・清水出張所
	消防局

消防行政DXの推進

8,080千円

消防行政におけるデジタル化の推進により、更なる市民サービスの向上、業務効率化、消防力強化を目指します。

- ・電子申請受付業務の拡充・広報用資器材の充実強化
- ・救急資器材管理供給システム(SPD)の継続
- ・Live119の継続

広域的な災害対応体制の強化

大規模災害時における応援体制の構築

1,380千円

大規模災害や特殊災害に対応するため、市町村又は都道府県の区域を越えて、消防力の広域的な運用を図ります。

▼ 災害時の活動状況



▼ 更新車両イメージ



西消防署の移転

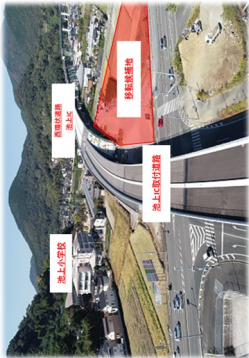
401,000千円

小島出張所の移転

14,700千円

中央区にある庁舎を西区へ移転し建替えることで消防体制の充実強化とさらなる市民サービスの向上を図ります。

- ・用地の取得
- ・基本計画の策定



救急救助体制の充実

あらゆる感染症への対策

10,200千円

感染防止資器材を計画的に配備することで、活動する

救急隊員や消防隊員の2次感染を防止するとともに市民への感染拡大防止を図ります。

▼ 感染防止対策

職員の各種研修

35,000千円

救急救命士の資格取得や、消防・救急活動に必要な免許・資格等を取得します。



消防団の体制強化

消防団の円滑な運営と充実強化

26,600千円

地域防災力の中核として重要な役割を担っている消防団の円滑な運営と充実強化を行います。

消防団活動拠点施設と災害対応力の充実強化

159,500千円

地元消防団の活動拠点である機械倉庫や消防団の車両・資器材等を有効に機能させるため計画的に整備を行います。



▼ 消防団の活躍

当初予算のポイント(教育委員会事務局)

予測困難な時代において、こどもたち一人ひとりが豊かな人生とよりよい社会を創造し、それぞれの夢や希望の実現に向けて自ら考え主体的に行動できるよう、多様な教育機能の整備・充実を図ります。

主体的に考え行動する力を育む教育の推進

教育の情報化 1,807,400千円

小中学校の児童生徒1人に1台整備しているタブレット端末の活用を引き続き推進します。また、小中学校の普通教室に配備している大型提示装置(電子黒板)を更新し、新たに特別教室にも導入します。

Kumamoto Education Week 2,000千円

こどもから大人まで、多様な社会の関係者が教育のあり方を共に考え、行動につなげることを目的として、オンラインや会場でのリアルイベントを交えたKumamoto Education Weekを開催します。



こどものいのちと権利の擁護

いのちを守る教育の推進

2,600千円

性に関する科学的な知識と適切な判断力を身につけるため、市立の小中学校、高校、特別支援学校で、産婦人科医等の専門家によるいのちの大切さを考える講演会を開催します。

スクールカウンセラー・

スクールソーシャルワーカーの配置 180,400千円

スクールカウンセラーを雇用し、児童生徒の心のケア等、専門的なカウンセリングを行います。令和6年度はスクールソーシャルワーカーを5名増員し21名とすることで、福祉的課題等を持つ児童生徒への支援の更なる充実を図ります。



最適な教育環境の整備

教職員の人材確保

8,000千円

大学生等に、本市の学校で学習指導の補助等を経験してもらうことにより、大学で学んだ理論と教育現場での体験の往還を通じて、教員としての資質能力や本市教員への志望動機の向上につなげます。

学校現場のDX

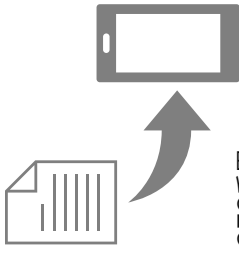
14,800千円

保護者からの欠席等連絡や学校だよりの電子配布などができるスマートフォンアプリケーションを全校に導入します。

教職員の働き方改革

14,047千円

中学校に配置する部活動指導員を3名増員し、教員の負担軽減と部活動の充実に取り組みます。



天明校区施設一体型義務教育学校の整備

294,373千円

天明校区における本市初の施設一体型義務教育学校の設置に向け、新校舎建築等のための基本・実施設計等を行います。



白川小新校舎(2024年1月竣工)

学校施設整備方針の検討

38,000千円

学校施設の改築を契機として、藤園中・城東小・江南中・向山小・向山幼稚園の魅力ある学校づくり基本計画の策定を検討します。

学校施設・設備等の整備

5,618,711千円

安全安心で良好な学習環境を整備するため、学校施設長寿化計画に基づく施設や設備の改修、トイレの洋式化、エレベーター整備等のバリアフリー化等に取り組みます。

当初予算(案)のポイント_各局の取組 | 2024

当初予算のポイント(教育委員会事務局)つづき

こども一人ひとりを尊重した教育の推進

いじめ・不登校対策の推進	56,600千円	学級支援員の派遣	408,300千円	夜間中学の運営体制整備	33,398千円
コアフレンドの実施や心のサポート相談員の配置、フレンドリーの運営、オンライン学習支援の実施など、いじめや不登校への対策に取り組めます。 令和6年度は、不登校対策サポーターを21名に増員し、校内支援体制の充実を図ります。					



学校現場で特別な教育的配慮を必要とする児童生徒のため
に学級支援員を配置します。

令和6年度は19名増員し187名とすることで、学校の支援の
更なる充実を図ります。

令和6年4月に開校する県立夜間中学において、県と連携し、義
務教育未修了者や義務教育段階の学び直しを希望する方に就
学の機会を提供します。



生涯にわたる学びの提供と学びの成果をいかす機会の創造

児童育成クラブの体制整備	1,905,400千円
手狭な施設や老朽化した施設の改築・増築を行い、児童が安心して衛 生的な環境で過ごせるよう施設整備を行います。また、支援員の処遇 改善を行うなど、クラブの安定的な運営を図ります。	



市立図書館の魅力的な運営の推進	391,004千円
資料の計画的・効果的な収集により紙と電子の両面で蔵書の充実を図るほ か、児童向け電子書籍コンテンツの活用促進に取り組めます。 また、学校図書館支援センターを中核として、学校図書館の活用、運営支援、 読書活動を推進します。	

当初予算のポイント(病院局)

質の高い医療サービスを提供するため、診療機能の充実等を図ります。

施設・設備の最適化

医療機器等の整備

419,696千円

小児用人工心肺装置や保育器などの医療機器の更新等を進めます。

データヘルス改革への対応

3,000千円

植木病院の訪問看護ステーションにオンライン資格確認等システムを導入するとともに、レセプトのオンライン請求を開始します。

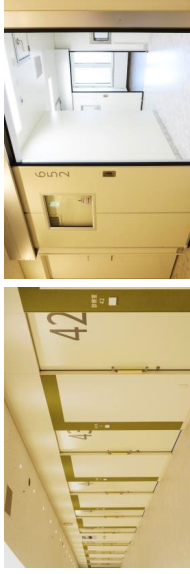


整備機器のイメージ

施設の改良

30,000千円

建具開閉時における患者の安全性及び利便性向上のため、熊本市民病院の建具にストッパー等を設置します。



改修建具のイメージ

働き方改革への対応

医療従事者等の増員

192,905千円

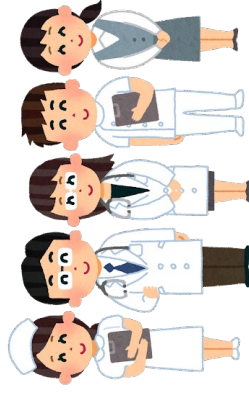
医師や看護師等の必要な職員の確保に努め、診療機能の充実を図ります。

医師事務作業補助者の配置

82,000千円

熊本市民病院に配置している医療クラーク(医師事務作業補助者)を増員し、医師の事務負担軽減を図ります。(27人配置→28人配置)

特定行為看護師等の養成
医師の判断を待たずに、手順書により、一定の診療の補助(特定行為)を行う特定行為看護師や認定看護師を養成し、医師の負担軽減を図ります。



当初予算のポイント(上下水道局)

「熊本市上下水道事業経営戦略」に定める4つの将来像の実現に向け、以下の事業に重点的に取り組みます。
将来像1.快適で安全安心な都市生活を支え続ける(安全安心)
将来像2.循環型社会の構築に貢献し続ける(環境保全)
将来像3.お客さまから信頼されとともに、質の高いサービスを提供し続ける(信頼)
将来像4.安定した事業経営(持続)

将来像1.快適で安全安心な都市生活を支え続ける(安全安心)

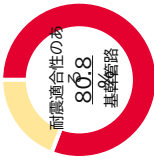
●水道事業

安全安心な水道水の供給に係る取組 10,209千円
新たにPFHxSの検査追加など水質検査の強化や有機フッ素化合物が検出された世帯の水道水への代替経費など安全安心な水道水の供給に取り組めます。

水道施設更新事業

3,970,684千円

「災害に強い水道の確立」のため、水道施設更新計画に基づき重要な水道施設及び基幹管路・老朽管の更新・耐震化に取り組めます。



管路の耐震化

第6次拡張事業

1,731,335千円

第6次拡張事業計画に基づき水道施設の機能強化及び基幹管路の新設によるバックアップ体制(補給管整備)の強化などに取り組めます。

●下水道事業

下水道施設の改築更新・耐震化 3,842,250千円
(うち国補正予算 210,000千円)
「災害に強い下水道の確立」のため、ストックマネジメント計画及び総合地震対策計画に基づき重要かつ老朽化した下水道施設の改築更新、耐震化に取り組めます。

未普及解消事業

4,652,000千円

生活環境の向上のため、下水道未普及地区において下水道管渠の整備に取り組めます。

浸水対策事業

1,686,825千円

「熊本市下水道浸水対策計画2023」に基づき浸水被害が多発する3地区を追加し、計画的な内水氾濫対策に取り組めます。



マンホールトイレの整備

当初予算のポイント(上下水道局)つづき

将来像2.循環型社会の構築に貢献し続ける(環境保全)

地下水保全の取組 51,444千円

新たな産業集積に対応すべく今後も継続して、地下水を水道資源として利用していくため、白川中流域水田かん養の強化や水源かん養林整備など環境局と連携して取り組めます。



グリーン／ブルーボンド発行経費 9,135千円
水環境保全の取組の財源として、グリーン／ブルーボンドを発行します。

下水道資源の有効活用 516,144千円

中部・東部浄化センターに続き西部浄化センターに消化ガス発電設備を設置、南部浄化センターに続き東部浄化センターに下水汚泥由来繊維利活用システムを導入し、脱炭素化を推進します。

省エネルギー技術の導入 256,188千円

カーボンニュートラル地域モデル処理場計画に基づいて、南部浄化センターの施設更新に取り組めます。

電気自動車等の導入 1,711 千円

カーボンニュートラルに向けて、公用車EV化や充電設備の設置に取り組めます。



将来像3.お客さまから信頼されとともに、質の高いサービスを提供し続ける(信頼)

水道100周年記念事業 24,219千円

令和6年度、本市の水道は、通水100周年を迎えます。

地下水を育む自然と人々の取組、水道事業を支えてきた人々への『感謝』
おいしい水と100年にわたる水道事業への『誇り』
熊本市の水道を未来へと繋いでゆく『誓い』

これらをコンセプトに100周年に関する記念事業を実施します。
記念式典及び花畑広場併設イベントの開催、記念誌作成等



くまもと水ブランド発信への取組 4,702千円

良質でおいしい水道水を国内外へ情報発信するため、企業と連携したボトル用給水機の設定やロゴマークの作成等水道水のブランドイングへ取り組みます。

水道の情報発信拠点及び水環境の教育施設として水の科学館の活用計画の基本方針を策定します。



当初予算(案)のポイント_各局の取組 | 2024

当初予算のポイント(交通局)

安全・安心な運行体制を確保することはもとより、個々のニーズに対応した質の高いサービスを提供し、顧客満足度の向上を図るとともに、経営形態の見直しなど持続安定的な経営に取り組めます。

市電に対する市民の愛着醸成や職員の士気向上

熊本市電開業100周年記念事業関係費 21,000千円

市民や観光客に、市電が身近な交通手段であることを改めて認識いただき、これまでに市電をはじめとする公共交通の利用促進等を図るため、開業100周年記念式典や各種イベント等の開催、市電の歴史を後世に残すための記念誌を発行します。



過去の式典の様子

市電の輸送力強化 ～計画的な車両更新～

多両編成車両導入事業

890,565千円

車両の老朽化に伴う車両更新、朝夕ラッシュ時の輸送需要への対応及びバリアフリー対応車両の充実を図るため、現行定員1.5倍程度の多両編成車両2編成を導入します。



新車両の外観イメージ



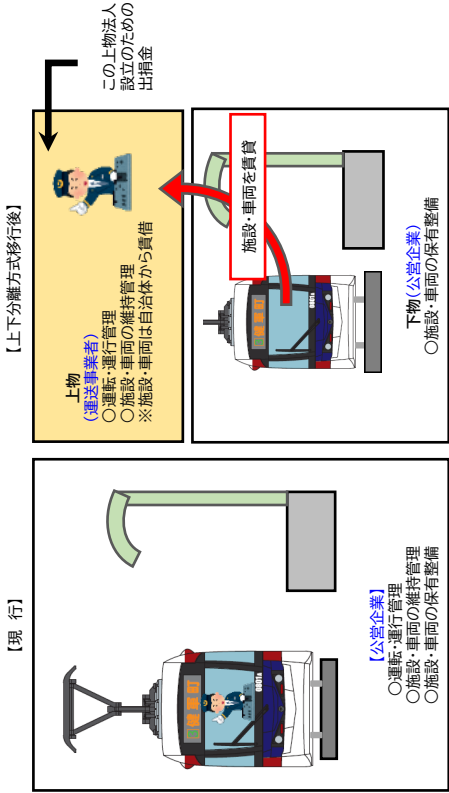
新車両の内装イメージ

上下分離方式への移行準備

一般財団法人への出捐金

64,000千円

R7年度からの上下分離方式の導入に必要な上物事業者(一般財団法人)を設立し、スムーズな移行に向けた準備を進めるため、上物法人で必要となるシステムの構築費や、運賃収入がない期間における人件費等を出捐します。



くまもと

市 政 概 要

2 0 2 4

令和 6 年 1 0 月 発行

編 集 熊本市議会 議会局政策調査課

発行所 熊本市議会 議会局

c